

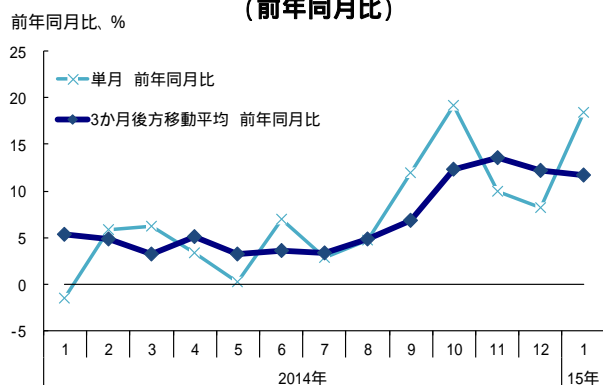
**台湾電子関連企業 月次売上高（2015年1月）**  
**売上高の水準は高く季節要因による落ち込みは軽微**

**3か月移動平均売上高は下向きながらも売上高は高水準を維持**

- 世界の電子部品・デバイス市場の先行指標となる台湾の主要電子関連企業55社の2015年1月の売上高は、前年同月比18.4%増（前月比12.7%減）、3か月後方移動平均値では同11.7%増（前月比3.8%減）となった（図表1、2）。3か月後方移動平均値の前年同月比は下向きの傾向にあり、前月比でもマイナスに転じるなど、売上高の増勢は鈍化する傾向にある。ただし、売上高の水準自体は高く、季節要因（1～3月期は電子部品の不需要期）による落ち込みは軽微なものに留まっている。
- また、後述するように、半導体関連企業の売上高が不需要期である1月においても前月比で増加しており、スマートフォンメーカーなどが、2015年についても強気な生産計画を持っていることが伺える。また、中国スマートフォンメーカー向けのLSI設計を行う企業の売上高の増勢にも、回復の兆しがみられる。
- 台湾の電子関連企業の売上高が前月比でプラスに転じ、再び拡大基調に転じるのは、旧正月（2月18日～24日）が明ける3月以降となると見込む。3月には、スマートフォンメーカー各社の新型端末の生産が立ち上がることが期待され、世界の電子部品・デバイス市場の増勢も3月以降、再び強まる展開を予想する。

図表1 前年同月比2ケタ%増を確保

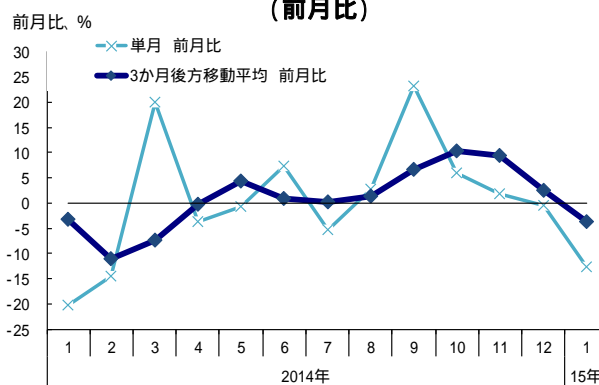
台湾電子関連企業55社 月次売上高推移  
 (前年同月比)



注: 台湾企業55社はTWSEに上場している電子関連の代表的な企業を浜銀総合研究所が抽出。  
 出所: Taiwan Stock Exchange, M.O.P.S.より浜銀総合研究所作成

図表2 前月比の減少は2014年より軽微

台湾電子関連企業55社 月次売上高推移  
 (前月比)



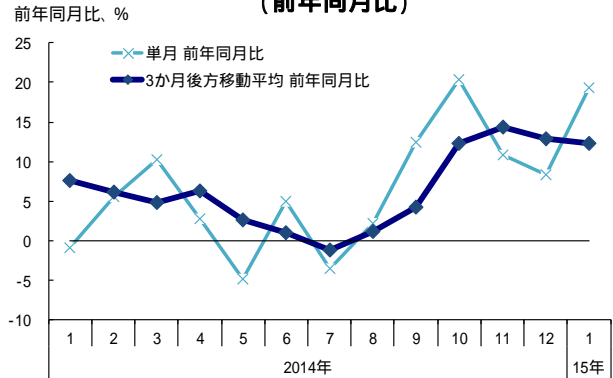
注: 台湾企業55社はTWSEに上場している電子関連の代表的な企業を浜銀総合研究所が抽出。  
 出所: Taiwan Stock Exchange, M.O.P.S.より浜銀総合研究所作成

**EMSの前年同月比の伸び率は高い**

- EMS (Electronics Manufacturing Service、電子機器の受託製造) 9社の1月の売上高は前年同月比19.3%増（前月比18.3%減）、3か月後方移動平均値が同12.2%増（同4.3%減）となった（図表3）。

- ・前月比の落ち込みは、EMS 企業の中でも最も売上高の大きい Hon Hai の落ち込みや、パソコンの受託生産を行う企業などの売上高減少による影響が大きい。
- ・ただし、前年同月比の数字が高い伸びを示していることから明らかなように、1月の売上高の水準は2014年と比較して高い。これは、iPhone を初めとするスマートフォン向けの製造が、不需求期であっても比較的活発に行われているためであると推察される。

図表3 前年同月比では高い伸び率を維持  
台湾EMS企業9社 月次売上高推移  
(前年同月比)



注: 台湾EMS企業9社はTWSE(台湾証券取引所)に上場している代表的な企業を  
浜銀総合研究所が抽出。  
出所: Taiwan Stock Exchange, M.O.P.S.より浜銀総合研究所作成

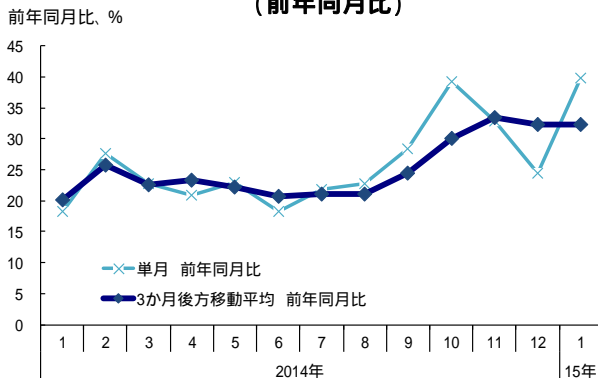
### 半導体関連企業は前年同月比、前月比ともにプラス

- ・半導体関連企業 12 社の1月の売上高は前年同月比 39.8%増（前月比 10.9%増）、3か月後方移動平均値が同 32.4%増（同 0.6%減）となった（図表4）。半導体の前工程を手掛ける TSMC の好調を主要因として、半導体全体の単月の前年同月比、前月比ともに増加した。半導体の前工程は、製造のサプライチェーンの中でも上流に位置する。1月の半導体前工程の売上高をもって今後の電子部品の動向を判断するのは時期尚早ではあるものの、半導体に対する旺盛な需要から、スマートフォンメーカーを初めとする完成品メーカー各社が、2015年についても強気な生産計画を持っていることが伺える。
- ・また、半導体関連企業のうちLSI設計3社の1月の売上高は、前年同月比31.4%増（前月比2.8%増）、3か月後方移動平均値が同28.8%増（同5.9%減）となった（図表5）。3か月移動平均値ははまだ下向きの傾向だが、単月での増勢は持ち直しの兆しがみられる。増勢が持ち直している理由は、中国スマートフォン向けの売上高が多いMedia Tekの増勢が、再び強まる傾向にあることによる。Media Tekの売上高は、昨年末、中国スマートフォンメーカー向け出荷に一服感がでたために増勢が鈍化した。1月はこの中国メーカー向けの需要が再び強まったと考える。

図表4 半導体関連企業の増勢は強まる兆し

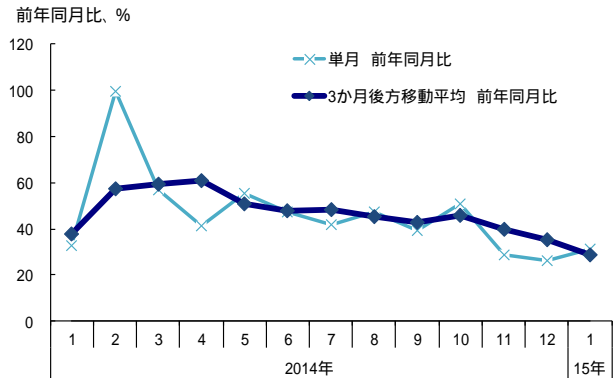
図表5 LSI設計は単月で持ち直しの兆し

台湾半導体関連企業12社 月次売上高推移  
(前年同月比)



注: 台湾半導体関連企業12社はTWSE(台湾証券取引所)に上場している代表的な企業を  
浜銀総合研究所が抽出。  
出所: Taiwan Stock Exchange, M.O.P.S.より浜銀総合研究所作成

台湾LSI設計企業3社 月次売上高推移



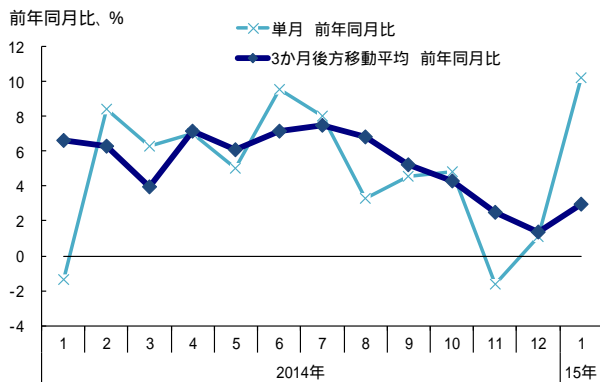
注: 台湾LSI設計企業3社はTWSE(台湾証券取引所)に上場している代表的な企業を  
浜銀総合研究所が抽出。  
出所: Taiwan Stock Exchange, M.O.P.S.より浜銀総合研究所作成

## 電子部品関連企業と光学部品関連企業の増勢も持ち直す兆し

- 電子部品関連企業12社の1月の売上高は、前年同月比10.2%増（前月比0.7%増）、3か月後方移動平均値で同3.0%増（同1.4%減）となり、増勢は持ち直す傾向にある（図表6）。企業別には、スマートフォン向けのフレキシブルプリント配線板や金属きょう体などを手掛ける企業の伸びが全体をけん引した。
- また、光学部品関連企業6社については、1月の売上高が前年同月比0.3%減（前月比16.1%減）、3か月後方移動平均値は同2.4%減（同5.1%減）となり、減少傾向ながらも底打ちの兆しがみられる（図表7）。

図表6 電子部品の増勢は回復傾向

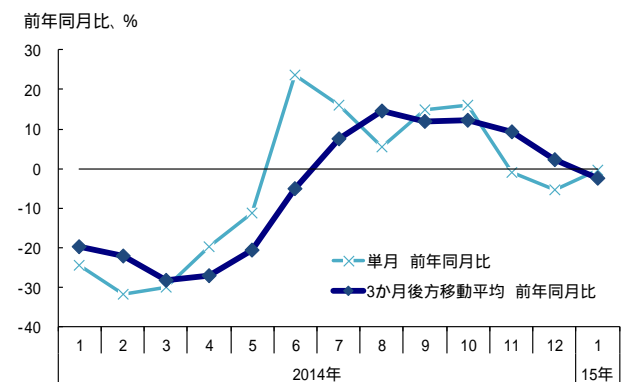
台湾電子部品関連企業12社 月次売上高推移



注: 台湾電子部品関連企業12社はTWSE(台湾証券取引所)に上場している代表的な企業を浜銀総合研究所が抽出。  
出所: Taiwan Stock Exchange, M.O.P.S.より浜銀総合研究所作成

図表7 光学部品は底打ちの兆し

台湾光学部品関連企業6社 月次売上高推移



注: 台湾光学部品関連企業6社はTWSE(台湾証券取引所)に上場している代表的な企業を浜銀総合研究所が抽出。  
出所: Taiwan Stock Exchange, M.O.P.S.より浜銀総合研究所作成

担当: 調査部 産業調査室 山鹿 亜紀子  
TEL 045-225-2375  
E-mail: [yamaga@yokohama-ri.co.jp](mailto:yamaga@yokohama-ri.co.jp)

本レポートの目的は情報の提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。